

子どもがかかりやすい感染症とその取扱い



病名	潜伏期	感染経路	主な症状と経路	欠席の目安	留意事項
●麻疹 (はしか)	約10日～ 2,3週間	咳、くしゃみ等 による飛沫	咳、鼻水、くしゃみ、目やにが出て 続いて発熱。 いったん下がって更 に上がると同時に発疹 口の中にコプリック斑	解熱後3日を 経過する迄	伝染力が強いので、予 防接種したほうがよい 肺炎、中耳炎に注意
●風疹 (三日ばしか)		唾液による飛沫	軽い発熱 同時に細かい発疹が 全身、首、後頭痛、耳後リンパ腺が 腫れる。 3～4日で発疹が消える	発疹がなくな る迄	髄膜炎に注意 妊娠初期は要注意
●水痘 (みずぼうそう)	2～3週間	唾液による 飛沫接触	発熱(しない場合もある)。 周りに赤みのある丘疹が、3～4日 で次々に水疱になり2～3日で かさぶたになる。 かゆみが強い。	すべての発疹 がかさぶたに なる迄	かゆみがあるので、 かかないようにし、 爪を短く切る
●流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	2～3週間	唾液による飛沫	発熱(しない場合もある)。 耳の下・あごの下が腫れる。 口をあけたり、食べたりすると痛む	耳下腺の腫れ が発症後5日 経過する迄	髄膜炎、睾丸炎、卵巣 炎に注意
●百日咳	1～2週間	唾液による飛沫	1～2週間にわたり、咳、鼻水、 くしゃみ、続いて特有の咳 (コンコン、ヒューヒュー)が 2～3ヶ月続く。	特有の咳が なくなる迄	肺炎、髄膜炎、中耳炎 に注意 特に乳児は重症になり やすい
●インフルエンザ	1～3日	咳、くしゃみ等 による飛沫	風邪の中でも最も重い症状。 (高熱、咳、頭痛、関節痛)	発症後5日経 過後解熱後3 日経過する迄	肺炎、気管支炎に注意 卵アレルギーの人は 予防接種を医師に 相談する
咽頭結膜炎 (プール熱)	4～5日	接触、経口、 飛沫	高熱、咽頭熱、目やに、目の充血。 首のリンパ腺が腫れる。	主要症状消失 後2日を経過 する迄	冬でも流行することが ある
流行性角結膜炎	4～5日	目やにによる 接触	目がゴロゴロして痛がゆい 目の充血、目やに、なみだ目、瞼の 腫れと痛み	主要症状が消 失する迄	角膜炎による視力低下 に注意 手洗いの励行
溶連菌感染症	2～5日	飛沫、接触	突然の高熱、続いて全身に発疹 (口の周りに出ない)のどが赤く、 舌はいちご様になる。 熱が下がる と皮膚が膜状にむけてくる	医師の許可が あり、集団生 活に支障が なければ可能	合併症に注意
手足口病	2～4日	飛沫、接触	手、足に水疱が出来る。 口の中に白い潰瘍状の斑点が出来る	医師の許可が あり、集団生 活に支障が なければ可能	刺激の少ない食事 を与える
伝染性紅斑 (りんご病)	1～2週間	飛沫、接触	両ほほに蝶のような形の紅斑	医師の許可が あり、集団生 活に支障が なければ可能	じんましん、アレル ギーと間違えやすい
とびひ (伝染性膿痂疹)	4～5日	接触	虫刺され等をかきこわして、細菌が 水疱、膿疱となる かゆみが強い。 膿疱が破れ新しい 皮膚にとびひする。	医師の許可が あり、集団生 活に支障が なければ可能	掻きこわさないように 爪を短く切っておく 急性腎炎に注意
突発性発疹			突然、高熱が3～4日続き、熱が 下がると同時に全身に発疹が出る	医師の許可が あり、集団生 活に支障が なければ可能	予後良好 2度なることもある
感染性胃腸炎 (乳幼児嘔吐 下痢症等)		嘔吐物・便	突然の嘔吐(頻回)、酸味の強い 水様便や白色便	医師の許可が あり、集団生 活に支障が なければ可能	脱水症状に注意 手洗いの励行

●印⇒予防接種あり

※ 上記記載病名は突発性発疹以外全て登園許可書が必要になります。